



みみ こまく なに  
**耳の鼓膜って、何でできているの**

ひ まく  
**皮ふとねん膜でできている**

こまく がいじどう のおくにある、ちよっけい 直径 10ミリメートル、あつ 厚さ0.1ミリメートルほどの、だんりょくせい 弾力性のある、はんとうめい 半とう明のうすい膜です。

がいめん がいじどう ひ つづ ないめん ないじ まく つづ 外面は外耳道の皮ふに続き、内面は内耳のねん膜の続きでつくられており、しんけい けっかん 神経も血管もきています。

みみ おと き  
**耳で音が聞こえるしくみは**

みみ そと がいじ ちゅうじ ないじ 耳は、外のほうから外耳・中耳・内耳という、3つの部分に分けられます。みみ あな いり 耳の穴の入り口から鼓膜までを外耳、こまく がいじ こまく ちゅうじ 鼓膜のおくを中耳とよんでいます。そして、ちゅうじ 中耳のさらにおくには、

なか えきたい はい、うずを巻いた管があ

り、これが内耳です。ないじ 内耳は、カタツムリの

からそっくりの形をしています。

おと 音がすると、そのふるえがくうき つた 空気を伝わって

みみ はい こまく 耳から入り、こまく 鼓膜をふるわせます。こまく 鼓膜のふる

えは、ちゅうじ 中耳にある3つの小さな骨からないじ 内耳

につた 伝わって、ないじ なか えきたい 内耳の中の液体をふるわせます。

このえきたい 液体のふるえが、ないじ かんかくさいぼう 内耳の感覚細胞とい

うものに伝わり、そこからしんけい 神経に伝えられて、

のう しんごう おく 脳に信号が送られ、おと き 音が聞こえたと感じるの

です。(監修・保志 宏)

